

交流を深めた中国の大学生とLSEメンバー  
(豊橋市の長屋会長宅で)



# 日本食味わいながら交流深める

## LSE言語交流会 来日中の中国人招き歓迎会

民間の国際交流団体「LSE言語交流会」(長屋洋子会長)は23日夜、豊橋市西小鷹野の長屋会長宅で中国の大学生19人を招いて歓迎会を開いた。会のメンバー16人が、中国人学生に日本文化を伝えながら交流。すき焼き

などを振る舞って歓談した。

中国北京の大学「中国労働関係学院」の学生19人と教員は、21日に来日。29日まで滞在して、豊橋市の企業などを訪問する。交流会は、長年にわたって海外留学生の生活支援活

動などを実施。中国人大学生を歓迎するため、長屋会長宅に招待し、食事を開いてもてなした。

長屋会長は「心から歓迎する。交流を通じて日中友好について考えてほしい」と学生に向けて中国語であいさつ。交流会メンバーは、童謡「KAWAIIKAWAI」を合唱し、食事会では和食や和菓子を提供して、日本文化の魅力を伝えた。

同学院は愛知大学(名古屋市)の協定校。両大学の学生は両国間を行き来して調査活動を行っている。昨年は、中国の学生が名古屋市の企

業などを訪問。今年には、豊橋市のパブリック施設や病院などを訪れている。

24日には、長屋病院(八町通3)や小学校などを見学し、日本の介護現場や学習環境を調べた。中国の学生は、27日に愛大の名古屋キャンパスで「日本社会調査報告会」を行う。(佐々木雄紫)

業などを訪問。今年には、豊橋市のパブリック施設や病院などを訪れている。